

シーズ名	木材への高機能性付与のための保存処理技術	分類：8
所属 / 職 / 氏名	岩手県林業技術センター / 主任専門研究員 / 中嶋 康	
キーワード	木材、保存、防火、防腐、耐久性	

どんな技術？

一言アピール

**燃えにくい・腐りにくい高機能性木材を生産するための、
薬剤注入処理技術を樹種別・用途別に開発します。**

公共工事等への国産材利用が推進される中で、火災や腐朽に強い高機能性木質材料の開発は、木材の新たな用途を開拓する上で大きな課題となっています。

高機能性木質材料を生産するためには、防火・防腐薬剤を減圧・加圧法により木材に注入する手法が一般的です。この際、木材に注入する薬剤の種類と量は、求められる性能と樹種で大きく異なるため、各条件に沿った薬剤注入処理技術の開発が重要になります。

これまで林業技術センターでは、県産材の防火処理技術の開発、土木資材として用いられる防腐処理木杭の耐久性試験を実施しており、県産材の保存処理技術に関するデータを蓄積・公表しています。



aiinaいわて県民情報交流センター
8F アイーナホール外壁

開発した準不燃木材と施工例



薬剤注入処理試験



防腐木杭の腐朽試験

何に使えるの？

- 研究開発した木材の難燃化処理技術を民間企業に技術移転することで、大型公共施設の内装を木質化する際に必要不可欠な準不燃木材の大臣認定を取得し、商品化に成功しました。
- 防腐処理技術は、土木資材のほかに住宅用土台等の耐久性向上にも役立ちます。

関連特許

関連資料等

ホームページ： <http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/>
業務案内：共同研究・技術指導